

町長の不信任案を提出

賛成4分の3未満で否決

9月定例会最終日に議員4名から町長の不信任案が提出され、別掲のとおり提案理由が述べられました。採決の結果、賛成者が出席議員数（8人）の4分の3以上（6人）を満たさず、否決されました。

不信任案は議会が町長に対し、重大な行政上の問題について、その責任を追及する手段として、あるいは、その行政執行能力からみて町行政を任せることができないとの判断に立って、町長を信任することができない旨を議決することです。

町長の不信任理由

防災拠点みちの駅整備事業については、平成28年5月16日の第1回から令和2年8月18日開会の産業厚生常任委員会から17回にわたる委員会中、誰一人として賛意を述べる方はいませんでした。

それにもかかわらず事業が進行したのは、富岡町との契約等の問題と、本町議会は本議会制を執っていることによることです。町長は、我々の諸々の意見を真摯に受け止め行政運営を改めていればと痛切に思います。土取り工事に要した、8億2692万円の巨額の費用を投入したにも関わらず所期の目的を達せずにしても、町民に何ら説明・謝罪もしないこんな無責任極まりない、かつ、高慢な行政運営は他に類をみない。

加えて、(株)振興公社に関わる問題です。私が、この問題知るところは、小磯取締役が、3階事務局内の机の上に振興公社の資料を置かれていて、興味を持って見て令和4年第4回取締役会資料を読んでみました。その中に、議案第1号経営改善計画承認の件を熟読しました。その中には過去6年間の収支状況が記されていました。それによると、平成28年度から令和元年度において1億400万9千円余を東京電力から賠償金を受け取りながらも、町議会にも諮らず、主に、バナナ事業に係る施設に投資をしたことがよみ取れますが、このことは小磯取締役に確認ご教示いただきました。この他、小磯取締役の申し出によると、2千万円を町に返却したと、ある時の取締役会の席上で社長が口頭で話されたが、町の決算書には記載がないとのこと、このようにずさん極まりない経営により、令和2年度は、1667万7千円の赤字に転落したとの事である。これが、第三セクターとして地方自治法第238条第1項第7号の摘要を受ける現在遠藤町長が筆頭株主として形式的には経営に直接的には参画していないが、逐一報告・連絡・相談を受けていることは、火を見るよりも明らかである、これが振興公社の現状です。

社会福祉協議会職員の不祥事において、刑事事件にはならなかったものの、組織管理体制のあり方、監査のあり方についても非常に疑問があるにもかかわらず、責任の取り方は給与1月減の措置のみであり、町民は到底納得できるものではない。

論語にいう、※巧言令色鮮し仁とはまさに遠藤町長のためにある言葉である。言葉巧みで表情をとりつくろっている人は、かえって仁の心がかけているものだ。

私は、みちの駅問題・振興公社問題等に通底する町長の認識不足を指摘すると、町民本位の思慮の欠落と議会軽視の高慢な行政運営にあることは明白であり、人心は乖離するばかりであります。これ以上東北に春を告げるまち広野、の梶取りを任せすることは出来ません。

以上の理由によりここに遠藤智町長の不信任案を提出する。

提出者	議会議員	門馬	巧
賛成者	議会議員	小磯	利雄
賛成者	議会議員	畑中	大子
賛成者	議会議員	阿部	憲一

※巧言令色鮮し仁（こうげんれいしょくすくなしじん）

ことば巧みで表情をとりつくろっている人は、かえって仁の心がかけているものだ、の意

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか、どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

令和2年6月定例会 一般質問

渡邊 正俊 議員

学校設備自動水栓に改修を

各種感染症予防のため、一日に何回も触れる水道の蛇口を、自動水栓に改修するべきと思いますが、その考えがあるか伺います。

改修に向け検討する

自動水栓への改修は、児童・生徒が直接触れることがなく、感染予防に有効な手段であると受け止めています。自動水栓への改修に向け検討します。

自動水栓に改修されました。

本年度の夏休み期間中にトイレや廊下等の蛇口が改修され、小学校で29個、中学校で53個の蛇口が自動水栓となりました。



自動水栓となった蛇口（広野中学校廊下）

6人の議員が町政を問う

畑中 大子 P12

- 広野町が賛成と意思表示した海洋放出について
- 社会に混乱をまねいているマイナ保険証について
- プレミアム商品券の使用できない三ツ沼直売所について

遠藤 浩 P13

- 広野町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について
- 当町の教育施策について

北郷 伯弘 P14

- 処理水の海洋放出について
- 広野町文化交流施設（ひろの未来館）について
- ゼロカーボン化の推進について

阿部 憲一 P15

- 町民の扱いを公平に
- トリチウムのリスクについて

小磯 利雄 P16

- 平成26年以来8年経過、「道の駅」について
- 東京電力福島第一原子力発電所海洋放出に係る町長の姿勢について
- 令和5年度全国学力・学習状況調査について※
※（掲載省略）議会映像ホームページをご視聴ください。

門馬 まりえ P17

- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について
- ごみの分別早見表について
- 道の駅跡地利用について

一般質問は、行政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、説明を求めたり所信を問いたですものです。